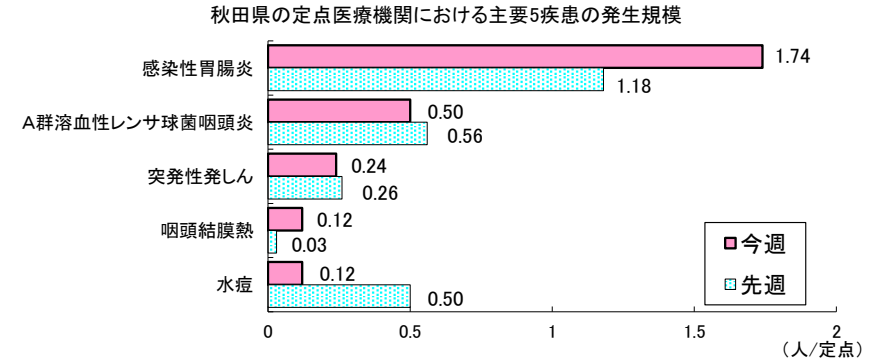




【第6週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で1.5倍に増加しています。保健所別では、秋田市、能代、横手、湯沢で増加、北秋田、秋田中央で同規模、大館、由利本荘、大仙で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で11%減少しています。保健所別では、秋田中央、大仙、横手で増加、湯沢で同規模、秋田市、大館、由利本荘で減少しています。
3. 突発性発しんは、県全体で8%減少しています。保健所別では、秋田市、由利本荘で増加、大館、北秋田、大仙、横手、湯沢で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減			
RSウイルス感染症		0.06	↗					0.50	↗																					
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.03	0.12	↗		0.50	↗													0.25		↘				0.25	↗				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.56	0.50	↘	1.50	0.83	↘	0.75	0.25	↘					0.75	1.50	↗	0.25		↘	0.50	0.75	↗		0.33	↗	0.25	0.25			
感染性胃腸炎	1.18	1.74	↗	1.33	3.83	↗	1.00	0.50	↘	0.50	0.50		2.67	3.33	↗	1.75	1.75		0.25		↘	1.50	1.25	↘	0.33	1.00	↗	1.00	2.00	↗
水痘	0.50	0.12	↘	2.83	0.50	↘								0.33	↗															
手足口病																														
伝染性紅斑	0.03		↘													0.25		↘												
突発性発しん	0.26	0.24	↘	0.33	1.17	↗	0.25		↘	0.50		↘						0.25	↗	0.25		↘	0.67		↘	0.50		↘		
ヘルパンギーナ	0.03		↘							0.50		↘																		
流行性耳下腺炎	0.03	0.03		0.17		↘												0.25	↗											
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*								*	*				
流行性角結膜炎										*	*		*	*		*	*								*	*				
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎 (ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内から1人、大館保健所管内から1人、能代保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-5週		6週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
二類	結核	1235	4	
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
三類	細菌性赤痢	1		
	腸管出血性大腸菌感染症	84		
	腸チフス			
	パラチフス			
	E型肝炎	63		
四類	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	6		
	エキノコックス症	2		
	黄熱			
	オウム病	1		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	1		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	麻しん			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-5週		6週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	53		
	デング熱			
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	1		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症			
	マラリア	3		
野兔病				
ライム病	2			
リッサウイルス感染症				
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	108	1		
レプトスピラ症				
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	56		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	8		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	133	3	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	2		
	急性脳炎	30		
	クリプトスポリジウム症			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	13		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	69	1	
	後天性免疫不全症候群	71		
	ジアルジア症	4		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	24		
	侵襲性髄膜炎菌感染症			
	侵襲性肺炎球菌感染症	101	1	
	水痘(入院例に限る)	20		
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	474	5	3
	播種性クリプトコックス症	11		
	破傷風	8		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	4		
百日咳	52	2		
風しん	3			
麻しん				
薬剤耐性アシネトバクター感染症				
指定	新型コロナウイルス感染症		120	

トピック

<突発性発疹について>

突発性発疹は突然の高熱と解熱前後の発疹を特徴とするウイルス感染症です。子どもが初めてかかる病気の代表的なもので、2歳までにほとんどの子どもが罹患します。定点あたり報告数は冬季にやや低くなる傾向がありますが、その変動幅は少なく、年次による差異もほとんどないのが特徴の疾患です(図)。

■原因ウイルス・感染経路

原因ウイルスはヒトヘルペスウイルス6型(HHV-6)と7型(HHV-7)です。ほとんどの大人の体内には、小児期に罹患したことによるウイルスが潜んでおり、親などの身近な大人から唾液を介して小児に感染すると考えられています。

■症状・治療

10日ほどの潜伏期の後、急に発熱します。38度以上の発熱が3日間ほど続いた後、解熱とともに鮮紅色のかゆみを伴わない発疹が体幹を中心に顔面、四肢に数日間出現します。発熱初期に熱性けいれんを起こすこともあるので注意が必要です。一般に予後は良好であるため、治療は対症療法による経過観察となりますが、まれに脳炎や脳症、劇症肝炎などといった重篤な合併症を起こすことがあります。

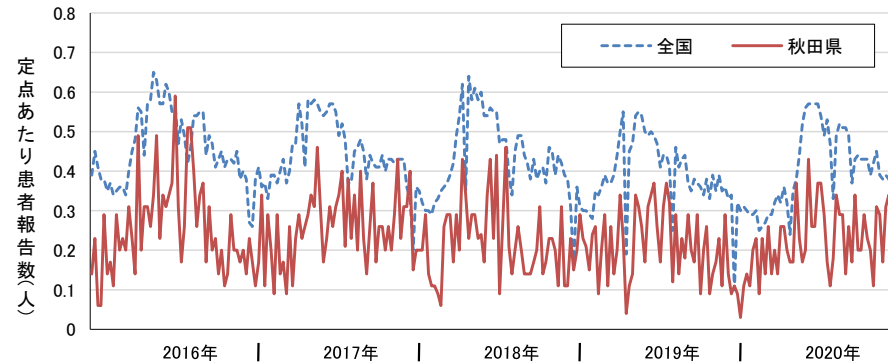


図 全国と秋田県における突発性発疹の定点あたり患者報告数の推移

感染症の集団発生報告

感染性胃腸炎集団発生2件、かぜ様症状集団発生1件の報告がありました。

種別	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
				利用者(園児等)	職員	計			
感染性胃腸炎	鹿角市	毛馬内保育園	2/8	104名のうち11名	27名のうち1名	12名	1/31 ~ 2/8	嘔吐、下痢	ノロウイルス
感染性胃腸炎	大館市	大館乳児保育園	2/8	62名のうち9名	24名のうち1名	10名	1/29 ~ 2/8	嘔吐、下痢	
かぜ様症状	鹿角市	八幡平なかよしセンター	2/9	84名のうち37名	28名のうち0名	37名	2/6 ~ 2/9	発熱、咳、咽頭痛	



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		